

特別支援学級での 学びと生活について

千歳市立泉沢小学校

特別支援学級コーディネーター 松岡 千和子

今日の話の内容

1. 簡単に自己紹介
2. 泉沢小学校特別支援学級について
3. 学習活動の様子

1. 自己紹介

教員になって

初任校 十勝帯広市～広尾町～千歳市～北広島市～千歳市

マイブーム

カントリーサイン集め

道の駅を巡る

(カントリーサインのマグネットの収集)

2. 泉沢小学校特別支援学級について

① 沿革

令和3年4月 泉沢小学校かがやき学級が開設(児童3名)

知的学級 1学級

自閉情緒学級 1学級

令和8年度 現在

知的学級 1学級 (児童 5名)

自閉情緒学級 2学級 (児童 9名) 計 14名

教諭 5名

児童ヘルパー 2名

② 学級目標

かんがえる子

がんばる子

やさしい子

きまりをまもる子

2. 泉沢小学校特別支援学級について

③ 教育課程

基本的には、泉沢小学校の教育課程に準じながら、個々の児童の発達段階に応じて、指導・支援します。個々の実態と教育的課題を確認し、適切な支援を加えながら、児童それぞれに合った教育内容を検討しています。また、社会的自立を目指した内容も取り入れて指導・支援します。

<かがやき学級の学習について>

○国語、算数、その他の教科(理科、社会など)

…クラスに分かれて、少人数で学習

○図工、音楽、体育、学活(畑作り、お楽しみ会、調理学集など)の授業

…基本的にかがやき学級全員で学習

○自立活動…個々の児童が自立を目指し、障がいによる学習上または生活上の困難を主体的に改善・

克服するために特別にもうけられた指導領域

(①健康の保持、②心理的な安定、③人間関係の育成、

④環境の把握、⑤身体の動き、⑥コミュニケーション)

2. 泉沢小学校特別支援学級について

④ 指導内容とねらい

ア) 学習指導

- ・一人ひとりの実態を把握・理解する。
- ・ICTなどの教育機器を効果的に活用し、楽しくわかりやすい授業を工夫する。
- ・学級全体の指導、児童個々の実態に合わせた指導、児童の実態に応じて交流学習での指導

イ) 生活指導

- ・基本的な生活習慣、けじめのある生活態度を身につけさせる。
- ・仲間意識を持ち、互いに認め合い、助け合う態度を育てる。
- ・善悪を正しく判断し、主体的に行動できる児童を育てる。
- ・自分でできることは可能な限り、自分でできるように支援する。

ウ) 特別活動

- ・当番活動を最後まで取り組ませる。
- ・学級会など、話し合い活動を大切にする。
- ・児童を中心とした活動の場を取り入れていく。

エ) 健康・安全

- ・自分の健康は自分で管理できるように、また、不調の時に適切な判断ができるように指導する。
- ・積極的に身体を動かす態度を育て、基礎体力の向上に努める。

オ) 家庭との連携

- ・学級通信や連絡ノートなどを通して、連携を図る。
- ・必要に応じて、保護者に協力をいただきながら、活動する。

カ) 他機関との連携

- ・教育委員会、児童発達支援センター、放課後児童デイサービス、病院などとも連携を図る。

2. 泉沢小学校特別支援学級について

⑤交流教育

支援学級の場面において、小集団では経験することが難しい活動を、より多くの同学年、異学年の子どもたちと交わり、お互いの触れ合いを通して、相互の個性理解を深めつつ、学力も体力も、総合的に高めていきます。

尚、交流教育を進めるにあたっては、児童それぞれの学力、心身の状態を十分に考慮し、交流学級担任と連携を密に行います。

<交流内容>

ア) 全員が交流するもの

・遠足、運動会、社会見学、宿泊学習、修学旅行、学芸会、集会、儀式的行事などの学校行事

(児童の実態を考慮し、参加の仕方や参加体制を検討する。)

イ) 児童個々の実態に応じて交流するもの

・教科学習、特別活動、総合的な活動、外国語活動、朝の会、帰りの会、給食交流など

※ 交流学習の内容等については、児童の実態を考慮しながら、活動内容を検討していく。

(交流学習に行く、行かない、何を交流するかなど)・・・無理のない形で。

※ 交流学級担任や保護者と連携・確認しながら、検討していく。

3. 学習活動の様子

就学学習会当日、写真などで紹介します。

さいごに

- ・特別支援学級では、子どもたち一人ひとりをよく見て、子どもの実態に合わせた支援。
- ・できないことばかりではなく、できること(子どもの長所)を見つけ、その長所を伸ばしていく。
- ・子どもたちが「自分でできた」「わかった」をたくさん感じられるような学級。